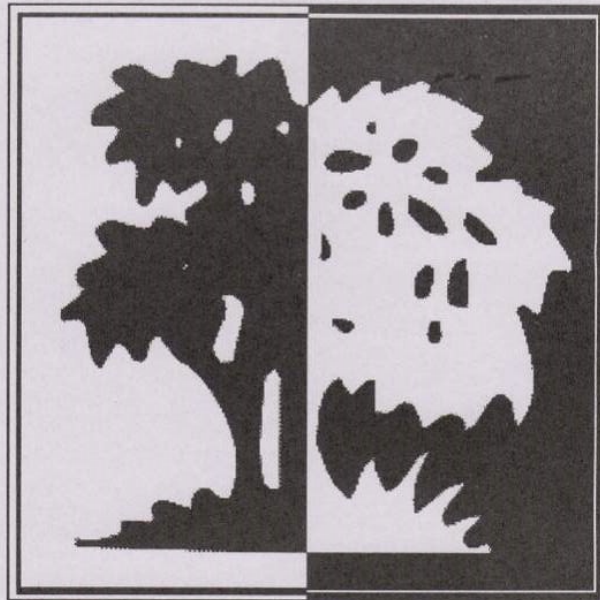


第9回

奈良ギター合奏団

定期演奏会

第28回奈良県民芸術文化祭参加



1997.10.11 1:30 p.m

奈良町センター市民文化ホール

Program

.....第一部.....

ポピラー合奏

1. マイアミビーチルンバ
2. キサスキサス
3. ラストワルツ
4. ワルツピカピカ
5. エルクンバンチェロ

二重奏

1. ファンタジー OP.54 F. ソル
奏者 江口政樹、奥田奈穂
2. 粉屋の踊り M.de. ファリャ
3. 即興のルンバ
奏者 笠 慎一郎、木村史朗

.....第二部.....

クラシック合奏

- ホルベルグ組曲 E. グリーグ
1. プレリユード
 2. サラバンデ
 3. ガボットとミュゼット
 4. アリア
 5. リゴードン

- カルメン組曲より抜粋 G. ビゼー
1. アラゴネーズ
 2. 間奏曲
 3. ファイナル

—— 曲目解説 ——

第一部

ポピュラー合奏

マイアミビーチルンバ

スアメリカのピアニスト、アーウィング・フィールズが書いたルンバです。ルンバの名曲としてもっとも有名な曲です。

キサス・キサス

キューバ出身の作曲家オスヴァルト・ファレスによるラテンの名曲です。「キサス」とは多分という意味で「私がプロポーズすると君はいつもキサス・キサス・・・といって返事をそらしてしまう」とお預けをくっている欲求不満の気持ちを描いた曲です。想像しながらお楽しみください。

ラスト・ワルツ

ゆったりとしたワルツです。美しいメロディーはみなさん一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか？

ワルツ・ピカピカ

この曲はベネズエラ原産ですが、他の国でも弦楽器のソロでよく演奏されます。甘いメロディー、そしてリズム感覚には、ベネズエラ民族音楽にある3拍子と2拍子の混合が加わって、南アメリカならではの香りを出しています。

エル・クンバンチェロ

この作品も、ラテンの名曲としてよく知られています。ラファエル・エルナンデスの作品で1943年に発表され、グラッチャという軽快なリズムとルンバの中間のルンバ・グラッチャの形式で書かれています。

二重奏

ファンタジー 作品 54

主題と3つの変奏曲そして終曲からなっています。各変奏曲の変化をお楽しみください。1stギターのメロディーを江口正樹が歌い込み、2ndの難しい伴奏を奥田奈穂が正確にこなします。存分にお楽しみください。

粉屋の踊り

即興のルンバ

当合奏団の名物コンビが久々に復活しました。ノリの笠慎一郎とキレの木村史朗が得意のスペインものとルンバをお届けします。息のあったところをお楽しみください

第二部

クラシック合奏

ホルベルグ組曲

1884年、デンマークの文学者ホルベアの生誕 200年祝賀行事の為に作曲されたピアノ独奏の為の組曲が原曲ですが、後に弦楽合奏用に編曲され、弦楽板のほうで有名になりました。グリーグにはホルベアの時代の音楽の模倣をする意図はありませんでしたが、ホルベアの生誕年がJ.S.バッハとわずか一年しか違わないことを含んで、バロック風の名曲を書きました。この曲の魅力は「北欧の音詩人」と呼ばれたグリーグによって表現された北歐的な情緒にあると言えるでしょう。今日はギターによってどこまで表現できるか挑戦してみます。

1. プレリュード

2部形式で書かれていますが、緩・急の対象はなく終止アレグロで進み、グリーグらしい優美な旋律の曲です。

2. サラバンデ

優雅なサラバンデを主題を中心に3部形式で書かれており、主題を短調化することで北歐的な詩情をよびさします。

3. ガボットとミュゼット

軽妙で愛くるしいガボットです。トリオのミュゼットを挟んでガボットが2回演奏されます。

4. アリア

この楽章だけ短調を用いたのが効果的とであり、北歐の憂愁がしみじみと歌われます。

5. リゴードン

リゴードンはプロヴァンスに発生し後に宮廷舞曲として愛好されました。中間に淡い感傷をたたえるトリオを挟んで軽快なリゴードン舞曲が演奏されます。

カルメン組曲より抜粋

フランスの作曲家のビゼーによる非常に有名なオペラで、奔放的なジプシー女カルメンと彼女をとりまく人物が、アンダルシア地方の古都セヴィリアを舞台に繰り広げる悲劇に曲をつけたものです。その親しみやすいメロディーから管弦楽曲としてもよく演奏されるため、みなさんご存じのことだと思います。非常にスペイン的でありスペインの景色が目には浮かぶようですが、実は作曲したビゼーは生涯一度もスペインを訪れたことがないそうですから驚きです。今日はその組曲の中よりアラゴネーズ、間奏曲、ファイナルを演奏します。スペインの景色を思い浮かべながらお楽しみください。

岩井 道雄	入団以来居心地がよいためもう10年以上もたちました。たまに不協和音を出しますが楽しんでギターを弾いています。
江口 政樹	今年はホルベルグ組曲の編曲で疲れてギターが弾けませんでした。(ウソ！:合奏団全員の意見)
奥田 奈穂	自己紹介を書くのはもしかして演奏するより緊張するかも。(それは舞台上で緊張しなさ過ぎでは?)
北尾 美喜子	定演参加も7回目となりました。学生時代とは違いいろんな年代の人と合奏でき楽しく思います。この出会いを大切にしたいと思います。
木村 史朗	ポピュラーの指揮初挑戦です。ギターを持たずにステージに上がるのは初めてなのでかなり緊張すると思いますが、パーカッションを入れて楽しい演奏にしたいと思います。
田中 穂積	54才、妻と子犬一匹。合奏団に入って2年目ですが和気あいあいとしたムードの中、ギターと人生論を酒の肴により仲間に巡り会えたと思っています。
谷 建子	練習を始めるとなぜか眠くなるのは、誘眠効果がギターにあるのでしょうか?
西 浩一郎	老若男女の酒飲みに囲まれて楽しくやっています。 いまでは休憩時間のビールも楽しみの一つに!?
平井 嘉寿江	2才の子どもを主人に預けてギターを楽しんでいます(いつもありがとうございます)おなかの赤ちゃんと一緒にがんばります。
藤本 学	入団してまだ2カ月。毎日泡吹きながら練習してきました。本番中トチっても笑って見逃してください。
松田 安弘	最近舞台上上がっても緊張しなくなりました。今年も心臓に毛が一本生えそうです。
山口 恵一郎	社会人の合奏団を千葉から奈良へと渡り歩いてきました。この合奏団に入ってまだ2カ月足らずですががんばっています。
山田 和夫	ちゃんと合図を出すとみんなその通りに弾いてくれます。間違っとうその合図を出すとみんな無視します。とても素晴らしい合奏団だと思います。
横山 伸行	今年から仲間に加わりました。ギターを弾くのは25年ぶりとなりますが、青春時代が走馬燈のようによみがえってくるので練習日を楽しみにしています。
笠 慎一郎	久しぶりに2重奏をします。それにパーカッションも加えて気合い十分。でも気合い入れて頑張るたび頭が薄くなっていくのが悲しい~~~~
大西 収 (パーカッション)	前回に引き続きパーカッションで大活躍。今回の為にコンガの皮も張り替えて気合いも腕前もバッチリ。リズムはまかせといてんか~~